

よこはま里山カルタプロジェクト

(令和4年度「花博自然環境助成」対象事業)

ムラ



カルタづくりを通し、里山とかかわる楽しさや意義を次の世代に伝えたい!と、小学生相当の年齢を対象に読み札絵札を募集、のべ 58 作品が集まりました。来年 2 月にはカルタ大会を開催、完成したカルタは採用者に送られるほか、寄贈や HP 公開なども予定。多くの方に楽しんでいただきたいと思っています。

TSUBAKI 食堂 18 区井～南区編協力

ムラ



横浜の地産地消を応援する TSUBAKI 食堂で各区をテーマにした「18 区井」が展開されました。NORA が所在する南区は 4 月。南区は農地がないため、メニュー構成の立案協力のほか、神奈川野菜の提供、南区紹介 POP 等を作成しました。

受託事業

- 横浜市「令和4年度森づくりボランティア体験事業業務委託」
- 横浜市「令和4年度横浜市保育所・小中学校等ビオトープ整備等指導業務委託」
- 横浜市「森づくり安全管理研修・入門講座企画実施業務委託」
- 横浜市「里地里山入門講座企画実施業務委託」
- (財)横浜市緑の協会「長浜公園トンボ池管理等業務委託」
- (財)横浜市緑の協会「根岸森林公園トンボ等調査委託」
- (財)横浜市緑の協会「野島公園ビオトープ環境改善業務委託」
- (特)日本 NPO センター「Green Gift 地球元気プログラム」
- (株)景デザイン研究所「樹林地(横浜市東部)地域計画策定業務」
- 横浜植木(株)「トンボとり大作戦開催業務」



ウェブサイト & ソーシャルメディア

Facebook、Twitter、Instagram、YouTube やっています。動画再生回数 1 位は「森づくりレベルアップ研修」で 28,000 以上、2 位「コナラとクヌギ」3,000 以上。

里山と暮らしをつなぐメールマガジン

毎月 1 日にメールマガジンを配信し続け、12 月には 175 号を迎えます。会員 5 人がそれぞれの視点から綴るコラムも休まず書き続けました。

委員・講演実績

委 員

- ・神奈川県自然環境保全審議会自然保護部会
- ・横浜市市民協働推進委員会市民活動運営支援事業部会長
- ・横浜市地域まちづくり推進委員会ヨコハマ市民まち普請事業部会専門委員
- ・(公社)国土緑化推進機構「国民参加の森林づくり総合推進事業」検討委員

講 演 等

- ・東洋英和女学院大学生涯学習センター公開講座で講演
- ・横浜市 × 市民協働推進センター共催「NPO 組織基盤強化ワークショップ」で話題提供
- ・横浜市「環境教育出前講座」講師派遣
- ・東京都「緑のボランティア指導者育成講座」講師派遣



里山とかかわる暮らしを

特定非営利活動法人

よこはま里山研究所 NORA

U R L <https://nora-yokohama.org/>
e-mail info@nora-yokohama.org



特定非営利活動法人

よこはま里山研究所 NORA

2022 年 活 動 報 告

コロナ禍で自然を求める人が増えたためと思われますが、野外での里山体験に参加してくださる方は多くなりました。一方、飲食を伴う室内活動は今年あまり開催できなかったので、来年はコーディネーターを中心、「はまどま」の情報を整理・発信し、活用を推進します。また、スタッフの世代交代を図りながら社会のニーズに応える NPO であり続けるために、新規事業の立ち上げや活動成果の発信を支援する会員向けの助成制度をスタートさせる予定です。



広報ツール拡充

コロナ禍がきっかけでリアルな活動の魅力をオンラインで伝えたいと思い、昨年から

「NORA の山仕事」などのプロジェクト紹介動画を制作し、これまでに 5 本を YouTube チャンネルにアップ。また、プロボノの方々からご支援いただき、外部の視点を積極的に取り入れて、NORA からのメッセージと団体紹介を 15 枚のスライド「Find My Satoyama」にまとめました。



プロジェクト紹介動画



団体紹介スライド



NORAの山仕事

ヤマ

スキルアップ研修も3期生を迎え、動力工具を使用できるメンバーも増えました。間伐材を活かす「ウッドワーク」事業も新たに始まりました。今後も、次世代に繋ぐことができる森林環境を整備していきます。



竹を活かす山仕事

ヤマ

毎月第3日曜日に、足柄上郡中井町まで出向き竹林整備を実施しています。「もったいないから竹細工」と連携し、里山資源を循環させています。横浜市内で整備できる真竹林を探しています。管理でお困りの方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。



よこはま里山レンジャーズ

(連携：認定NPO法人自然環境復元協会) ヤマ

今年もレンジャーズ隊員とともに、活動を受け入れて頂いている団体の里山保全活動に参加しています。コロナ禍で中止していた活動場所も全て再開しました。



まちの近くで里山シゴトづくり

(共催：モリダス / 東京海上日動火災) ヤマ

手道具とロープで安全に伐木できるようになるステップアップ研修を開催。城山地域（相模原市）で親子向けに里山体験の機会を提供する「Green Gift 地球元気プログラム」は今年で終了ですが、地元の方々と里山を守る活動が始動しました。

森と畑と音楽と

ノラ

今年も、田んぼにたくさんの方がいらっしゃいました！また、稻刈りでは、案山子が田んぼに彩りを添えました。畑、クラフトもあわせて皆様のご参加お待ちしています！



野菜市でつなぐ農と人

ムラ

NORA 野菜市に加え、南区はフォーラム南太田マルシェと「おさん」(写真)・中区は「たけのま」「麦田元氣朝市」金沢区は富岡西と「金沢平和センター」で定期開催しています。



もったいないから竹細工

ムラ

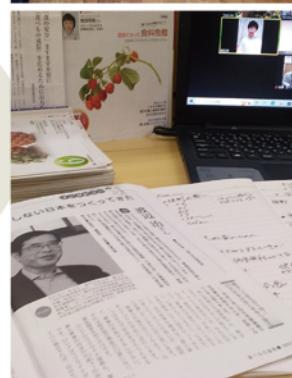
里山資源の竹材を多くの方に利用して頂いています。実施日を増やしてもキャンセル待ちが生じるなど、たくさんの方々の支持により、活動を継続しています。今後は参加者の方々が作られた作品を販売する場を設けるなど、イベントなども企画する予定です。



『食べもの通信』読者会

ムラ

食と暮らしの月刊情報誌『食べもの通信』読者会は毎月第2月曜日の夜にリモート開催で4年目に。藤沢・筑波・宮崎・イタリアからも参加です。皆様、ぜひ定期購読を！



はぶすぱラボ

ムラ

だれもが知っているあの料理。お馴染みの食材にハーブやスパイスを効かせて、ちょっといつもと違うよそ行きの味を楽しみながらみんなで一緒に料理研究をおこなっています。



はまどまで土間仕事

ムラ

生活の中での四季、旬、食、人との繋がりを大切に。自分の手で作る喜びを共に味わっていただきます。2022年度は梅干しづくりと川口糺さんとの味噌づくりを開催しました。



はまどま手習い塾

ムラ

暮らしにすぐに活かせ、日々の生活を心地よくするための技を学ぶ「手習い塾」。「お香の手習い」は川井緑地の植物でお香の素材を試作するなど、里山と深く関わりを持つ方向へ。



はまどま諸々

ムラ

宮宿花1・2丁目の子ども会では10月30日に160人の子どもたちが町内を廻ってお菓子をもらいました。仮装を楽しんでお迎えしたはまどまでは、野菜や果物も！

